

西宮市下水道ビジョン(案)への意見提出手続き
(パブリックコメント)の実施結果について

平成 21 年 11 月 25 日から平成 21 年 12 月 25 日までの期間で実施しました意見提出手続き(パブリックコメント)に基づく意見募集について、お寄せいただいた意見の内容とそれに対する市の考え方を以下のとおり取りまとめましたので、ご報告いたします。

皆様から提出されたご意見を踏まえ「西宮市下水道ビジョン」を策定いたしました。

1.意見提出者 6名

項 目	内 訳
性 別	男性:4名、女性:1名、未記入:1名
年 齢	20歳代:1名、40歳代:1名、50歳代:1名、60歳代:2名、未記入:1名
住 所 等	本庁地域:2名、鳴尾地域:2名、瓦木地域:1名、山口地域:1名
職 業	自営業1名、会社員:2名、公務員:1名、その他:1名、未記入:1名
提出方法	FAX:1名、郵送:1名、持参:2名、電子メール:2名

2.意見の内容と市の考え方

No.	ご意見		市の考え方
	主な内容	内容	
1	下水道 使用料 について	<p>下水道は毎日、何気なく使っていますが、すごく助かっています。ありがとうございます。</p> <p>ひとつ、気になることがあるのですが、『我が家の下水道料金と水道料金を比べると毎月ほとんどの場合、水道料金が50～60%高いのですがなぜでしょうか。汚れた水をきれいにする方がお金はかかるように思いますが』ということなのです。</p>	<p>上水道と下水道では、水質の基準、使用する施設や薬品、処理の過程などが異なり、それぞれ必要な費用も異なります。</p> <p>また、西宮市では下水道を急速に整備するために集中して多額の投資をしたため、借金の返済など事業経営に必要な費用に下水道使用料だけでなく一般会計からの補助金も充てています。</p> <p>このように条件が違うために、結果として料金(使用料)に差が生じることとなっています。</p> <p>なお、使用水量が1ヶ月で20m³の場合の水道料金と下水道使用料の差について近隣7市(神戸市、尼崎市、芦屋市、宝塚市、伊丹市、三田市、川西市)の平均と西宮市を比較すると、近隣7市の1.68倍に対し西宮市は1.53倍となっています。</p>
2	下水汚泥の 有効利用に ついて	<p>現在西宮市の下水汚泥は県広域処理場に送り処理されていると聞いていますが、最近新聞記事で《下水汚泥からリン回収、肥料原価高騰で農家支援》《環境 SOS, 下水汚泥を燃料に乾燥させて石炭代わりに》等の記事を見ました。</p> <p>うまく利用すれば宝の山と思えますがいかがですか、また他の市に先駆するのであれば、研究機関を県だけに任せず西宮(の大学等)で研究実験をしたらいかがでしょうか。最近市政ニュースなどで、西宮市は環境にかなり力を入れて取り組んでいるように感じられますので、期待しています。</p>	<p>西宮市では下水処理の過程で発生する汚泥の処理を、兵庫県に依頼しており、全ての汚泥は兵庫東流域下水汚泥広域処理場で処理されております。</p> <p>そのため市単独事業としての対応は困難ですが、兵庫県において汚泥の有効利用についての研究を行っておりますので、市としても、可能な限り協力してまいります。</p>

No.	ご意見		市の考え方
	主な内容	内容	
3	安心して暮らせるまちづくりについて	<p>トイレが水洗になったことや大雨で浸水することがほとんど無くなり、喜んでます。</p> <p>しかし、昨年の神戸市での大雨による事故も起こっていますので西宮ではこんなことが起こらないように安心して暮らせるようにしっかりと対策をお願いします。</p>	<p>下水道で計画している事業は、市民の皆様の安全・安心な暮らしや快適で健康的な暮らしを守るために、どれも欠かすことの出来ないものではありませんが、その中でも浸水対策事業は市民の皆様にとって重要性の高い事業と考えております。</p> <p>治水安全度を向上するため、現在の計画降雨である時間 47mm(6年降雨確率)を見直し、時間 55 mm(10年降雨確率)に耐えうる浸水対策事業を実施していく考えであります。しかしながら、浸水対策事業には多くの費用と時間がかかることから、整備の優先順位を決め、順次進めてまいります。</p> <p>また、下水道施設の処理能力以上の雨が降った場合は、浸水等の被害が発生するため、超過降雨対策として公園・学校等の公共施設の貯留浸透施設の整備に取り組んでおります。</p> <p>今後は、一般家庭でも可能な浸水対策として貯留浸透施設の整備について協力を呼びかけ、市民の皆様との協働による「みんなが安心して暮らせる安全なまち」づくりを目指してまいります。</p>
4		<p>いつも快適に生活ができるのも下水があるからと感謝してます。</p> <p>しかし、ビジョンを見るとまだまだやらなければいけない事があるようですね。</p> <p>そんな事が少しわかった様な気がします。</p> <p>これからも私たち市民が安心して暮らせるようにお願いします。</p>	
5	下水処理水の再利用について	<p>下水道事業を金銭的、効率的に推進しようとしている事はよく理解できました。雨水処理として、植樹の水やりが記載されておりました。(いい使い方だと思います)雨水処理とはどの程度の処理水か、又、汚水処理水もどの程度の処理水なのか、明確にされておられません。そこそこ高度処理されているのであれば、今後公共施設の中水道活用にする事はできないでしょうか。(本当は各家庭で活用できるようになれば望ましいですが)限られた資源を大切にしたいものです。</p>	<p>下水道の持つ資源や施設の有効利用については、下水処理水及び雨水の多目的利用を図るなど積極的に取り組む課題としております。</p> <p>下水処理水は水質汚濁防止法による排水基準を遵守するよう処理して放流し、一部については色度・臭気・大腸菌などの再利用水質基準を遵守するようさらに消毒し、下水浄化センター内の親水水路や市内街路樹の散水などに利用しております。</p> <p>今後、水環境の更なる保全に向けて予定している高度処理の導入に併せ、処理水の有効利用についての検討も引き続き行ってまいります。</p> <p>また、一般家庭での雨水の有効利用を促進するために、市民の皆様が貯留施設(雨水貯留タンク等)を設置する時に利用できる支援制度についても検討を行っております。</p>

No.	ご意見		市の考え方
	主な内容	内容	
6	情報の開示 について	<p>下水道は、快適な生活環境の創造や、河川や池など公共用水域の水質保全の向上、さらには市民の生命・財産を守る社会基盤施設として、その果たすべき役割は大変重要であるものと考えられます。</p> <p>そのような中、今般の下水道ビジョンでは、下水道が果たすべき役割を踏まえ、将来において下水道として取り組まなければならない諸課題を的確に把握されており、また、その課題への対応に向けました諸施策の中では、基本的な考え方や具体化に向けましての取組内容などをわかりやすく提示されており、将来において市民が安心して、安全な生活を営むために、この下水道ビジョンを策定されますことは、大変意義深いものと考えられ、またビジョン策定後には、各事業を早期に推進されますことを願いたいところであります。</p> <p>この下水道ビジョンの策定に当たりまして、1点お願いしたい事項といたしまして、各施策は取り組む必要のあるものばかりだと考えられますので、その実施の時期や期間、達成状況がわかるようにしていただき、また可能なものにつきましては、数値目標などを導入されて、市民にわかりやすく情報開示をしていただければ、市民にとりましても下水道が果たす役割や重要性などもさらに認識を深めていけるのではないかと考えますので、よろしくお願いいたします。</p>	<p>下水道事業推進に当たっては市民の皆様のご理解と協力なくしては進めることができないと考えております。そのため、この下水道ビジョンをはじめ下水道事業の広報を今後も積極的に行いたいと考えております。</p> <p>数値目標につきましては「8.健全な下水道経営に向けて」で、平成30年までの大きな目標として下水道雨水整備率(6年降雨確率および10年降雨確率)、合流式下水道改善事業進捗率、高度処理事業進捗率について記載しております。各事業の詳細な達成状況や数値目標の開示につきましては、ホームページ等を利用し市民の皆様がわかりやすい広報について検討してまいります。</p>